



「SDGs未来都市」を目標に里山会公文名ファイブは活動を進めています。

令和3年11月度の活動

十一月二十一日(日)そば収穫の様子、今年は、例年に比べて、一週間程遅い収穫になりました。これから、一週間ほど天日干しして、脱穀します。そして、脱穀します。来年の二月中旬頃製粉して蕎麦づくりを行なう予定です。



十一月七日(日)滝ヶ窪圃場
環境学習として、「野鳥・昆虫が寄ってくる」森づくりを行なっている場所へ植樹する苗木を自分たちでどんぐりから育てようというビニールポットへどんぐりを埋め込みました。



十一月度森づくり
「仙郷の森」多目的広場での「野鳥・昆虫が寄ってくる」森づくり、
今月は、森林ウオーキングコース(スグミコース)の整備(写真左上)他写真は、土壌改良剤散布の段取り及び散布状況です。これまで、六・七年続けてきた落葉広葉樹の苗木を成長させるための切りれとしての土壌改良剤です。来年の春に結果がそうです。



裾野市初開催マウテンバイクレース

伊豆高原駅構内伊豆ジオテラス見学

十一月二十八日(日)
関東イ・エス・デーセンサー主催のエスディーズの勉強会に参加してきました。写真はその一部です。今回の学んだことは、今後の活動に行かして行きます。



十一月二十七日(土)九時スタートそのマウテンバイクチャレンジ二大会が始まりました。コロナ化で一年半遅れての開催です。当団体が設置した森林ウオーキングコースを使用した競技です。今後も地域活性化のためにも継続を望むところです。



☺☺さとやまレンジャー《☺☺親子体験学習》

◎日 時 R3年12月5日(日) 9:30～15:00頃
 ◎集合場所 (仙郷の森)多目的広場(集合時間9:15)
 ◎対 象 令和3年度さとやまレンジャー《親子体験学習》会員・一般
 ◎活動場所 (仙郷の森)多目的広場
 ◎活動内容 ナメコ栽培体験・木工竹細工・森の音楽会(童謡歌う・打楽器演奏練習)・ネイチャーゲーム
 ◎費用 さとやまレンジャー 無料 ・一般参加者300円(材料代・保険代)
 ◎服 装 長ズボン長シャツ・運動靴
 ◎持ち物 弁当・飲料水・ノート・筆記具・帽子・タオル
 ※雨天中:須藤宅(車庫で輪切りクラフト・竹細工)を行ないます(場所変更あり)
 ※準備の都合上参加出来る方は、12月1日までに連絡してください。 090-2689-6913

☺☺さとやまレンジャー《☺☺親子体験学習》

◇日 時 令和3年12月19日(日) 9:30～15:00
 ◇集合時間 9:15(受付開始)
 ◇場 所 滝ヶ窪圃場(茶畑交番近く)
 ◇対 象 者 さとやまレンジャー(親子体験学習会員)
 ◇活動内容 ミニ門松づくり・焼き芋づくり・ネイチャーゲーム
 ◇服 装 普段着・運動靴(長靴)
 ◇費 用 子ども200・大人300円
 ◇持 物 弁当・飲料水・帽子・手袋・タオル・筆記具
 ※会員:参加者の方は12月15日までに連絡をお願いします。
 (090-2689-6913(須藤))

☺☺昆虫・野鳥が集まる「仙郷の森づくり」参加者募集☺☺

◎日 時 毎週木曜日◎活動時間 10:00～14:00
 ◎集合場所:仙郷の森(多目的広場)◎対 象:森づくりをやりたい方
 ◎活動場所 仙郷の森(多目的広場)◎活動内容 雑木・竹伐採片付け等
 ◎参加費 無料◎服 装 作業できる服装 ※道具はお貸します。
 ◎持 物 弁当・手袋・帽子・飲料水・弁当



※参加してみたい方、木曜日以外に参加希望の方は須藤まで連絡をお願いします。090-2689-6913

森を大事にしよう

森と環境 地球全体で森がどんどん減っています。

2000年から2010年までの間に、毎年平均約5万2千km²の森林が、地球上から消えていっています。5万2千km²とは、日本の国土の7分の1近くに当たります。森林が減ることは、温暖化や異常気象など、地球全体の環境に大きな影響をおよぼすこととなります。森林が減る原因のほとんどは、人間の手による森林破壊です。わたしたち人間は、より便利に快適な生活をおくろうとするため、森林を切り開き、畑や牧場や田んぼをつくり、町をつくってきました。今、特に減っているのは、アフリカ中央部や東南アジア、南アメリカなどの熱帯林です。これらの地域では、大規模に森の木をたおし、牧場や農場をつくっています。何年か前までは、このままいくとあと100年ほどで世界の熱帯林はなくなってしまうともいわれていましたが、減り方は少しゆるやかになってきました。それは植林が広まってきたからです。森林はあいかわらず減ってはいますが、新たに森林が育っている地域も増えてきています。これは、森林を守っていくうえで、とても大切なことです。

「野鳥・昆虫が集まってくる」森づくり

★木の実と野鳥の密接な関係★

小さく、熟すと赤など鮮やかな色になる木の実には、少なくありません。じつは、その理由も鳥と密接な関係があるようです。植物は、自らの意志で移動することができません。しかし、種の繁栄を考えるとなるべく遠くにタネを届けたいところです。そこで、一部の植物は戦略として、鳥に目立つように進化し、野鳥が丸呑みできる大きさに進化したと考えられています。木の実には、タネが成熟すると野鳥に食べてもらうために色を変えます。そして、熟した実を一部の野鳥は丸呑みにし、果肉部分を消化し栄養として取り込み、消化できないタネを少し離れた場所で排泄します。排泄されたタネはその地で芽を出し、生長していくという関係ができています。植物の中には、鳥の消化器官を通ることで発芽率が上がる種類があることも分かっています。

地球は、人間だけが住むだけの場所ではない、動植物と一緒に暮らす場所です。

NPO法人里山会公文名ファイブ

